



Cat.No. J9032

クイックジェルIFEキット 抗血清

免疫固定法用抗血清



『全自動に対応』

● 試薬の特徴

- ・電気泳動と免疫沈降反応を組み合わせた免疫固定法を測定原理とする、ヒト免疫グロブリンG,A,M, κ 鎖及び λ 鎖の検出用キットです
- ・抗血清毎に色分けされており、抗血清の取り違えを防ぎます
- ・自動化に対応しています

● 対応機種

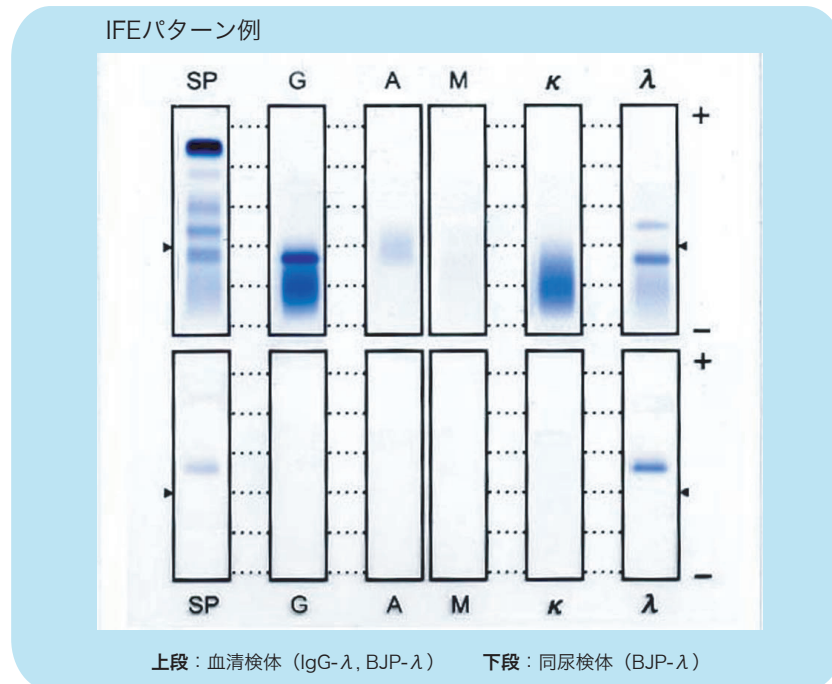
- ・全自動電気泳動分析装置「エパライザ2 ジュニア」・・・全自動
- ・全自動電気泳動分析装置「エパライザ2」・・・半自動
- ・デンストメーター「クイックスキャン」・・・用手法

● 試薬・支持体

Cat.No.	品名	規格	構成品
J9032	クイックジェルIFEキット 抗血清	抗血清 0.75mL×5本 固定液 1mL×1本	抗血清 各0.75mL 5本 固定液 1.0mL 1本
J9031	クイックジェル IFEアガロースセット	83mm×129mm×10枚 染色液他	支持体 10枚、プロッターC 30枚 プロッターG 20枚、IFEステイン 50mL 1本
J9034	クイックジェル IFEアガロースセット (Jr)	83mm×129mm×10枚 染色液他	支持体 10枚、プロッターC 30枚 プロッターG 20枚、IFEステイン 4mL 1本



『骨髄腫の治療効果判定にも用いられています』



血清蛋白電気泳動像で、M蛋白と考えられるピークが検出された場合、M蛋白の同定が必要とされています。同定方法には、免疫固定法 (IFE) と免疫電気泳動法 (IEP) がありますが、治療効果判定基準では、免疫固定法が用いられています。

MGUSと診断されても、10年で12%の人が多発性骨髄腫、慢性リンパ性白血病、原発性マクログロブリン血症、原発性アミロイドーシスに進展したというデータもあり、3~6ヶ月ごとの検査と長期にわたる経過観察が必要とされています。

また、合併症である腎障害の原因となるベンス・ジョーンズ蛋白 (BJP) の検出にも優れた検査方法です。

参考文献

- 1) The International Myeloma Working Group. Criteria for classification of monoclonal gammopathies, multiple myeloma and related disorders: a report of the International Myeloma Working Group. Br J Haematol. 121, 749-757 (2003)
- 2) 東田修二. M蛋白の検査の現状と適切な利用法. JJCLA 41, 259-263 (2016)
- 3) 日本骨髄腫学会 [編]. 多発性骨髄腫の診療指針 第3版 (文光堂), 1-25 (2012)